

このコーナーでは、生活支援コーディネーターが地域の暮らしの中にある「素敵な地域の縁（地縁・ちえん）」を紹介します。
地域でのさまざまな取り組みや活動など、皆さまからの情報提供をお待ちしております。
◆このコーナーに関する問合せ先：地域福祉グループ ☎0587-23-6713



サポートします！

大里地区 日下部松野町の挑戦 ～つながりを守る 松野町の力～

生活支援コーディネーターとして、数年前から日下部松野町の組長会に参加し、地域の皆さまの声や取り組みをともに考える機会をいただいています。今回は、その日下部松野町で続けられている地域づくりの取り組みをご紹介します。

日下部松野町では高齢化が進み、空き家の増加が住民の不安として挙がっています。こうした状況の中でも、地域のつながりを守るため、約30年前に立ちあがった高齢者ふれあいサロンが今も続けられています。運営スタッフも高齢となりましたが、地元の福祉用具販売店からの支えもあり、住民の交流の場を守り続けています。

また、自治会では「空き家対策委員会」を立ち上げ、住民同士で見守りながら、安全で住みやすい環境づくりに取り組むほか、組長会に民生委員との顔合わせを組み込み、住民の困りごとを早期に把握し、関係機関へつなぐ体制を整えています。

人が減っても、つながりは守る。日下部松野町は、住民とともに安心して暮らせる地域づくりに挑戦しています。生活支援コーディネーターとして、これからも共に歩み続けたいと思います。



新旧民生委員、サロン運営者、住民との意見交換会（組長会后）



民生委員らとの顔合わせ



新人コーディネーターのゆるっと日記

こんにちは！地域福祉グループのヤスダです。前回の広報の掲載後、「見たよ～」と声をかけてもらえました。その一言が嬉しくて、広報ってちゃんと読んでいただけているんだとほっとしました。

気づけば今年度も残り半分となり「もう慣れた頃でしょう」と言われそうですが、私はまだゆるゆると模索中。そんな日常を、ゆるっとお届けします。



まずは“怪しくない人”になるところから

私の業務のひとつに、地域のみなさん同士での支え合いをサポートする「生活支援コーディネーター」という役割があります。（私は小正・下津地区を担当）

とはいえ、知らない人にいきなり本音を話すのって難しいですね。

だからまずは「私は怪しい者ではありません」というところからスタート。

地域の活動場所にお邪魔して、ゆるっとお話ししながら、少しずつ距離を縮めています。

その積み重ねが、少しずつ信頼につながっていくと感じています。

気軽に話し合いの場

地域のことを地域のみなさんと共有する「協議体」という場をつくっています。

会議というより、気軽に話せるお茶会のような場を目指しています。

近況では「買い物が大変になってきた」という声から、地図を広げてみんなでお店の状況を確認しました。

指で地図をなぞりながら「ここはまだあるね」「ここはなくなっちゃったね」と話す時間は、ふわっとしているけれど、地域の“今”を知る大事なひとときです。

やっぱり地域のことを一番知っているのは住民のみなさん。私の方が「へえ～」とリアクションをしながら、たくさん学ばせてもらっています。

ゆっくりでも、みんなと一緒に

まだまだ手探りですが、一步步地域のみなさんと一緒に進んでいけたらと思っています。

今後ともお気軽にお声がけください、よろしくお願いします。